

中小製造業者への情報提供

① 主な情報収集先

下記のような産業支援機関のwebサイトの閲覧や直接訪問、メールニュースなどを通じて支援制度等について情報収集を行った。

- 経済産業省 近畿経済産業局
- 独立行政法人 産業技術総合研究所 関西センター
- 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 近畿本部
- 独立行政法人 医薬基盤研究所
- 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）関西支部
- 日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部
- 地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所
- 大阪府産業デザインセンター
- 公益財団法人 大阪産業振興機構
- 一般財団法人 大阪科学技術センター（OSTEC）
- 一般社団法人 大阪発明協会
- 一般社団法人 ベンチャーエンタープライズセンター 関西支部
- 関西職業能力開発促進センター（ポリテクセンター関西）
- 近畿職業能力開発大学校（近畿ポリテクカレッジ）
- ハローワーク茨木（大阪ハローワーク）
- 大阪府品質管理協会（OQC）
- 公益社団法人 大阪府工業協会
- 社団法人 大阪府経営合理化協会
- 大阪地域職業訓練センター（愛称：A⁺ワーク創造館）
- 茨木商工会議所

1 月末現在の企業訪問件数 55 件

② 情報の項目等

コンサルタントが提供する下記のような情報（分野）を行政が訪問企業の現状や課題、取組意向等を踏まえて選択し、訪問時に支援制度等を紹介する資料として活用した。

情報提供の分野	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援・相談について ・金融・保証・共済について ・人材育成について ・地域活性化について ・事業用地・施設について ・販路開拓について ・海外展開について ・その他
項目内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業・制度名 ・概要 ・対象 ・支援内容 ・募集期間等 ・参考 Web（ホームページアドレス） ・問い合わせ先
回数	6 回程度（2 月現在）

② 情報提供内容（例）

経営支援・相談について

特定の経営課題があって、
アドバイスを受けたい企業に

事業・制度名	経営実務支援事業
概要	高コスト・過剰在庫等の経営課題を抱える中小企業・ベンチャー企業に経験を通して培われた知識・ノウハウを持つ専門家を派遣し、実務的見地からアドバイスを行う事業です。
対象	特定の経営課題の解決や経営向上を目指し、かつ受入体制が整っている中小企業。 製造業の場合、資本金 3 億円以下又は従業員 300 人以下の会社又は個人。
支援内容	<p>○大手・中堅企業で経営幹部・工場長・部門責任者などの実務経験や指導経験の豊富なアドバイザーを選定し、派遣します。</p> <p>○プロジェクトマネージャーを中心に、アドバイザー・中小機構職員等が支援チームを組み貴社の実態を踏まえて支援します。</p> <p>○社内プロジェクトチームを編成するなど自主的に取り組むことで、実践を通じた課題解決の仕組みが構築されます。</p> <p>【費用】 受入企業が負担する費用は、アドバイザーの謝金 1/3 相当額で、1 回あたり 8 千円です（謝金の 2/3 相当額は国の負担となります）。</p> <p>○受入企業負担の例 10 回派遣の場合、8 千円×10 回＝8 万円。受入企業の負担金は前払いとなります。</p> <p>【支援テーマ例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業展開のための営業体制の構築 ・知的財産の蓄積・活用 ・会計処理・経理業務フローの構築/管理会計の導入 ・賃金制度・人事労務制度の改善/物流改善/省エネ対策
募集期間等	特になし
参考 Web	経営実務支援事業 http://www.smrj.go.jp/venture/consult/objinzai/035580.html
問い合わせ先	中小企業基盤整備機構 経営支援部 経営支援課 電話 03-5470-1564

人材育成について

会社内に IT 専門家を
育てたい企業に

事業・制度名	戦略的 CIO 育成支援事業
概要	中小企業に比較的長期間、専門家を派遣し、経営戦略に基づく IT 化計画の策定及びその実施など、きめ細かなアドバイスを行うとともに、アドバイスを通じて、中小企業における IT 人材を育成する事業です。
対象	<p>○比較的高度な IT システムを導入することで、経営課題の解決・経営改革を計画的に実施しようとする意欲のある中小企業</p> <p>○これから本格的な IT 化を集中して図ろうとする中小企業</p> <p>○製造業の場合、資本金 3 億円以下又は従業員数 300 人以下の企業</p>
支援内容	<p>○IT の活用や導入に係る実務経験者や IT 活用の支援実績が豊富な中小企業診断士など、専門家が月に数回訪問し、具体的にアドバイスします。</p> <p>○IT 導入に関するアドバイスを通じて、企業内 CIO 候補者を育成します。</p> <p>【費用】 企業が負担する費用は、16,700 円/人・日（専門家派遣費用の 1/3 相当額）です。残り 2/3 相当額は機構が負担します。旅費その他の企業負担はありません。 →例 1 専門家 1 人を月 4 日、半年間派遣した場合の費用 16,700 円×4 日×6 ヶ月＝400,800 円</p>
募集期間等	特になし
参考 Web	戦略的 CIO 育成支援事業 http://www.smrj.go.jp/venture/consult/cio/063635.html
問い合わせ先	中小企業基盤整備機構 経営支援部 経営支援課 電話 03-5470-1564

ビジネス交流サロン

① 市内ものづくり企業等アンケート

ものづくりを中心とした中小事業者のニーズに対応したビジネス交流サロン（講演・交流会等）を実施するため、市内中小事業者に対してアンケートを実施。

【対 象】茨木市内に立地する製造業及び関連産業の事業者

【調査方法】郵送、ファックス、メール等で配布、ファックス等による回収

【回 収 数】53件

【調査時期】平成25年10～11月

【調査内容】以下の通り

- ・事業の継続・発展のために興味・関心のあるテーマ
- ・勉強会・研修会への参加の方法
- ・事業の相談相手
- ・大学との連携の意向
- ・事業活性化のために取り組みたいこと
- ・期待する施策

② ビジネス交流サロン

上記アンケート結果を踏まえ、今年度のビジネス交流サロンのテーマ・内容を次のように企画し、実施（一部今後実施予定）及び運営。

【実施済】

1 ものづくり中小企業からライフサイエンス産業へのアプローチ

【講師】山戸俊幸氏（クリエイション・コア京都御車 チーフインキュベーションマネージャー）
（12月10日）

2 バッテリーで新しいビジネスに挑戦してみませんか

【講師】任田正之氏（大阪府バッテリー戦略研究センター センター長）
（1月22日）

3 ものづくりの人材育成・定着 女性が働きやすい職場づくり

【講師】森豊氏（株式会社西山ケミックス代表取締役 京都試作ネットメンバー）
（1月31日）

【実施予定】

4 大学と企業が連携した新たなビジネス創出

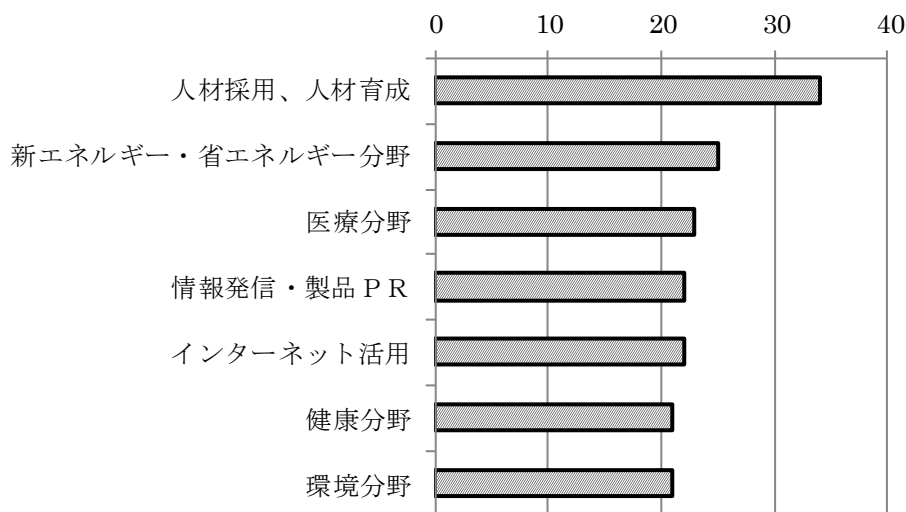
【講師】西嶋政樹氏（大阪大学産学連携本部総合企画推進部 助教）
松村晃氏（大阪大学 産学連携教授）
野口義文氏（立命館大学産学連携戦略本部 副本部長）
（2月20日）

5 産学連携・医工連携による医療機器開発

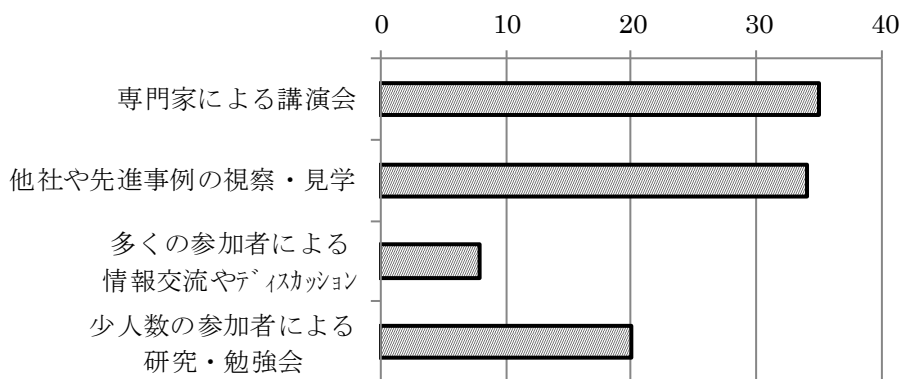
【講師】隅田剣生氏（株式会社産学連携研究所 代表取締役）
（3月6日）

【企業アンケートの概要】

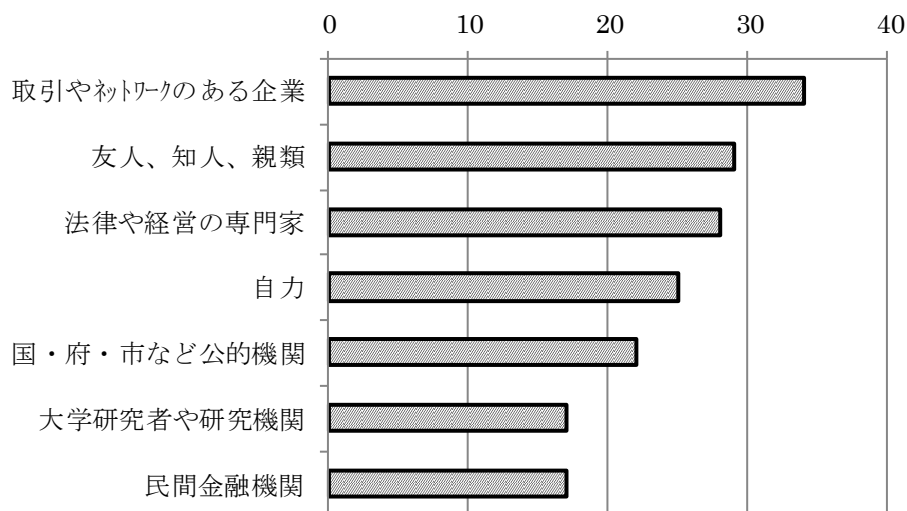
◆今後、貴社が事業を継続・発展させるために、どんなテーマに興味・関心がありますか。(上位項目)



◆関心のあるテーマについて勉強会や研修会を実施する場合、どんな形式や方法での参加を期待・希望されますか。



◆以下のうち、貴社が今後、事業の活性化のため、積極的に取り組みたいとお考えのことがあれば、教えてください。(上位項目)



第11回 茨木ビジネス交流サロン

ものづくり中小企業から ライフサイエンス産業へのアプローチ

主催

茨木市商工労政課

(事務局)

(株)地域計画建築研究所

医療産業 (その2)

セミナー講師 山戸俊幸氏



【講師プロフィール】

2003年～2007年

電子部品下請企業の第2創業型バイオベンチャー事業の
研究者として、装置開発製造・研究に従事。

2007年～2011年

ベンチャーキャピタル会社のインキュベーション事業に
て、バイオベンチャー・中小企業の事業展開支援に従事。

2011年～

中小企業基盤整備機構のインキュベーションマネージャー
として、クリエイション・コア京都御車にてバイオベン
チャー企業、中小企業の事業展開支援に従事。

【現職】

- ・ I P S ビジネス促進拠点 事務局長
- ・ クリエイション・コア京都御車(中小機構近畿)
チーフインキュベーションマネージャー
- ・ NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議 理事

平成25年 **12月10日(火)**

●セミナー 午後7時～午後8時

●交流会 午後8時～午後9時

場所:福祉文化会館202号室

セミナーは参加費無料

交流会は軽食代(実費1,000円)ご負担

医療産業は、政府の「新成長戦略」でもわが
国の成長牽引産業と位置づけられ、大きな市場
に広がる可能性を持つ分野です。

5月に開催されたセミナー「医療機器業界へ
の参入と薬事法」に続き、ものづくり企業から
医療産業のビジネスチャンスの可能性につい
て、実例を交えながら、さらに深く学び、具
体的なアクションについて、考えてみませんか?

※開催当日までに、下記をファックス・メールいただくか、またはお電話でお申し込みください。

..... 茨木ビジネス交流サロン 参加申込書

参加者のお名前	
事業所名	
事業所所在地(ご住所)	
参加者ご所属(部署・ご役職)	
お電話番号(連絡先)	
メールアドレス	
参加希望 (いずれかに○)	() セミナーのみ () 交流会のみ () セミナーと交流会の両方

(問い合わせ・申込先) 株式会社地域計画建築研究所(アルパック) 電話 075-221-5132

担当: 石井敏史(さとし)・武藤 ファックス 075-256-1764

メール ishii-st@arpak.co.jp (メール確認後、返信します)

【参加者】

サロン（講演会）出席	15名	交流会出席	14名
<ul style="list-style-type: none"> ・市内ものづくり系中小事業所の経営者（代表取締役、社長）を中心に、近隣市の事業所、市内コンサルティング会社、NPO、商工会議所等が参加 ・ライフサイエンス（医療等）を中心とした分野の将来展望、中小企業参入の可能性、具体的な参入事例、参入に際して相談や支援が期待される機関や人材（近畿経済産業局等）の紹介 ・講師が所属するクリエイション・コア京都御車（中小機構近畿）内に設置されている「IPSビジネス促進拠点」の案内 ・その後、2月16日にサロン参加者有志で「IPSビジネス促進拠点」の見学会を実施したほか、サロン参加企業が個別に同所を訪問するなど、積極的な取組へのきっかけとなっている 			

【サロン（講演・話題提供）、交流会の様子】



第12回 茨木ビジネス交流サロン

バッテリーで新しいビジネスに 挑戦してみませんか

主催

茨木市商工労政課

(事務局)

(株)地域計画建築研究所

環境・エネルギー産業



セミナー講師
任田正之氏

～バッテリー戦略センターでは、
電池関連ビジネスを支援します～

【講師プロフィール】

- ・日産自動車(株)中央研究所材料研究所OB
- ・ソニー(株) OB

【現職】

- ・大阪府商工労働部
バッテリー戦略研究センター (BSRC)
センター長

平成26年 **1月22日(水)**

●セミナー 午後7時～午後8時

●交流会 午後8時～午後9時

場所:福祉文化会館202号室

セミナーは参加費無料

交流会は軽食代(実費 1,000 円)ご負担

大阪府では、国際戦略総合特区制度を活用し、バッテリー関連産業の集積や大阪発のビジネスモデルの創出などに取り組んでいます。

今回のセミナーでは、電池関連ビジネスを支援する大阪府バッテリー戦略研究センターセンター長の任田氏から、新エネルギーやバッテリー産業の動向、ビジネス参入のヒントなどをお話しいたします。

※開催当日までに、下記をファックス・メールいただくか、またはお電話でお申し込みください。

..... 茨木ビジネス交流サロン 参加申込書

参加者のお名前	
事業所名	
事業所所在地 (ご住所)	
参加者ご所属 (部署・ご役職)	
お電話番号 (連絡先)	
メールアドレス	
参加希望 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> セミナーのみ <input type="checkbox"/> 交流会のみ <input type="checkbox"/> セミナーと交流会の両方

(問い合わせ・申込先) 株式会社地域計画建築研究所 (アルパック) 電話 075-221-5132

担当: 石井敏史(さとし)・武藤 ファックス 075-256-1764

メール ishii-st@arpak.co.jp

【参加者】

サロン（講演会）出席	20名	交流会出席	20名
<ul style="list-style-type: none"> ・市内ものづくり系中小事業所の経営者（代表取締役、社長）を中心に、近隣市や大阪市の事業所、市内コンサルティング会社、商工会議所等が参加 ・大阪府が設置したバッテリー戦略研究センターの狙いや将来展望、中小企業参入の方法や可能性、具体的な参入事例の紹介 ・大阪府成長産業振興室新エネルギー産業課環境技術産業グループより、「大阪スマートエネルギーパートナーズ事業」（技術マッチング等支援）の案内 ・その後、バッテリー戦略研究センターから提供のあった「ものづくり企業等の電気自動車関連産業への参入に向けた研究会」の情報提供など、この分野への参入意欲のある企業へのフォローアップも実施している 			

【サロン（講演・話題提供）、交流会の様子】



第13回 茨木ビジネス交流サロン

ものづくりの人材育成・定着 女性が働きやすい職場づくり

主催

茨木市商工労政課

(事務局)

(株)地域計画建築研究所

ものづくり人材育成



セミナー講師
株式会社
西山ケミックス
森 豊 氏

【西山ケミックス沿革】

- S46 京都府長岡京市にて西山化成設立
- S55 京都府久世郡久御山町にて工場を新築移転
- H4 業務拡大の為、宇治市槇島町中川原に新築
- H6 株式会社西山ケミックスに組織変更
- H14 業務拡大の為、宇治市槇島町目川に新築移転
- H23 正会員として京都試作ネットに加入

【講師現職】

- ・株式会社西山ケミックス (京都府宇治市)
代表取締役

<http://www.nsym-chemix.co.jp/index.html>

平成26年 **1月31日(金)**

●セミナー 午後7時～午後8時

●交流会 午後8時～午後9時

場所:福祉文化会館202号室

セミナーは参加費無料

交流会は軽食代(実費1,000円)ご負担

ものづくり企業、特に中小企業では、人材の育成及び定着が企業経営の大きな課題となっており、市内企業へのアンケートでも人材育成・定着に高い関心が寄せられました。

西山ケミックスは決して大手ではありませんが、女性・若手のやる気を引き出し、高収益を実現している元気企業です。今回は人材育成や女性活用をテーマにお話しいたします。

※開催当日までに、下記をファックス・メールいただくか、またはお電話でお申し込みください。

..... 茨木ビジネス交流サロン 参加申込書

参加者のお名前	
事業所名	
事業所所在地(ご住所)	
参加者ご所属(部署・ご役職)	
お電話番号(連絡先)	
メールアドレス	
参加希望 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> セミナーのみ <input type="checkbox"/> 交流会のみ <input type="checkbox"/> セミナーと交流会の両方

(問い合わせ・申込先) 株式会社地域計画建築研究所(アルパック) 電話 075-221-5132

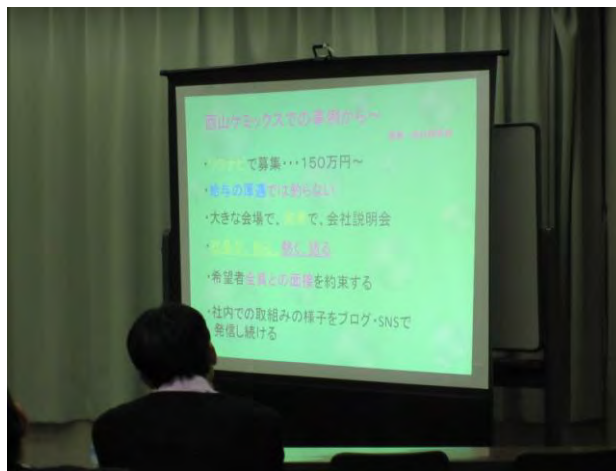
担当:石井敏史(さとし)・武藤 ファックス 075-256-1764

メール ishii-st@arpak.co.jp

【参加者】

サロン（講演会）出席	10名	交流会出席	10名
<ul style="list-style-type: none"> ・市内ものづくり系中小事業所の経営者（代表取締役、社長）を中心に、近隣市や大阪市の事業所等が参加 ・実際に中小企業を経営する講師から、事業継続に向けた人材の考え方（仕事が増えたから人を増やすのではなく、人を育てて仕事を生み出す）や若手・女性育成のアイデア及び実施例を紹介 ・「試作系女子」としてメディアにも取り上げられた同社の若手女性社員も参加し、会社選択の要因、やりがい等について意見交換 ・企業連携によって様々な事業展開を図る「京都試作ネット」への参加体験を踏まえ、企業連携のメリットや若手企業家へのアドバイス ・その後、参加者から講師への講演依頼の相談など人のネットワークが生まれるとともに、同じ中小企業として参加者から「ためになった」との感想が多く聞かれた 			

【サロン（講演・話題提供）、交流会の様子】



第14回 茨木ビジネス交流サロン

大学と企業が連携した 新たなビジネス創出

主催

茨木市商工労政課

(事務局)

(株)地域計画建築研究所

～産学連携～

●セミナー

①大阪大学産学連携について

講演者 大阪大学

産学連携本部総合企画推進部

助教西嶋 政樹 氏

産学連携教授松村 晃 氏

産学連携に向けて、web シーズ検索システムの利用方法と、大学への技術相談方法や連携後の流れなど、大阪大学の開かれた産学連携制度をご紹介します。

②大学の先生と産学連携を成功させる15ヶ条

講演者 立命館大学 研究部事務部長

産学官連携戦略本部副本部長

野口 義文 氏

大学の先生との相談や連携のやり方を、15ヶ条にまとめ、わかりやすく解説。大学の先生が見つかったら、いよいよ産学連携の相談が始まります。相談の心構えについてのコツを伝授いたします。

平成26年2月20日(木)

●セミナー 午後7時～午後8時

●交流会 午後8時～午後9時

場所:福祉文化会館202号室

セミナーは参加費無料

交流会は軽食代(実費1,000円)ご負担

近年大学と企業が連携したビジネス創出が多数実現し、茨木市でも大学発ベンチャーが数多く立地するなど、民間企業へ大学の研究成果や技術の移転が進んでいます。

今回のセミナーでは、大学の立場から企業とのコーディネートに携わっている方々をお招きし、大学の産学連携制度やその活用方法などをお話しいたします。

※開催当日までに、下記をファックス・メールいただくか、またはお電話でお申し込みください。

..... 茨木ビジネス交流サロン 参加申込書

参加者のお名前	
事業所名	
事業所所在地(ご住所)	
参加者ご所属(部署・ご役職)	
お電話番号(連絡先)	
メールアドレス	
参加希望 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> セミナーのみ <input type="checkbox"/> 交流会のみ <input type="checkbox"/> セミナーと交流会の両方

(問い合わせ・申込先) 株式会社地域計画建築研究所(アルパック) 電話 075-221-5132

担当: 石井敏史(さとし)・武藤 ファックス 075-256-1764

メール ishii-st@arpak.co.jp

第15回 茨木ビジネス交流サロン

産学連携・医工連携 による医療機器開発

主催

茨木市商工労政課

(事務局)

(株)地域計画建築研究所

医療関連その3

セミナー講師

株式会社産学連携研究所

代表取締役 隅田 剣生 氏

【講師プロフィール】

H10 プラント機器メーカーでプロジェクト営業

H16 大阪大学先端科学イノベーションセンター
NEDO フェロー

H18 大阪大学先端科学イノベーションセンター
特任助手

H20 文部科学省 産学官連携コーディネータ

H22 大阪大学産学連携推進本部総合企画部
産学連携准教授

H22 株式会社産学連携研究所設立
代表取締役

株式会社産学連携研究所

【所在地】 大阪市北区西天満 4-2-15
マツウラビル 4階「産学連携支援オフィス」

【HP】 <http://aircc.jp/>

平成26年3月6日(木)

●セミナー 午後7時～午後8時

●交流会 午後8時～午後9時

場所:福祉文化会館202号室

セミナーは参加費無料

交流会は軽食代(実費1,000円)ご負担

茨木市が位置する北大阪地域は、多くの医療研究機関や製薬企業などが集積しており、今後も中小企業や異業種企業の参入と、医療機関との連携が期待されています。

今回のセミナーでは、こうした北大阪バイオクラスター化をすすめるうえで、研究医療機関とものづくり中小企業との連携をコーディネートする企業の立場から、産学連携・医工連携による医療機器等の研究・開発の実情をお話しいたします。

※開催当日までに、下記をファックス・メールいただくか、またはお電話でお申し込みください。

..... 茨木ビジネス交流サロン 参加申込書

参加者のお名前	
事業所名	
事業所所在地(ご住所)	
参加者ご所属(部署・ご役職)	
お電話番号(連絡先)	
メールアドレス	
参加希望 (いずれかに○)	() セミナーのみ () 交流会のみ () セミナーと交流会の両方

(問い合わせ・申込先) 株式会社地域計画建築研究所(アルパック) 電話 075-221-5132

担当: 石井敏史(さとし)・武藤 ファックス 075-256-1764

メール ishii-st@arpak.co.jp

民間プロジェクトの立ち上げ支援

① ものづくり分野における企業のネットワーク化

ア) 市内企業ヒアリング

市内のものづくりを中心とした中小事業者のうち、茨木ビジネス交流サロンをはじめ、産業振興施策等への参加に積極的な企業にヒアリングを実施し、市内産業の現状への評価、今後の市内企業の連携の可能性（協力・参画意向）等について把握。

○市内企業ヒアリング

1 取り組んでみたいテーマ（分野）

- ・どんなテーマなら市内企業と連携した取組をしてみたいか

2 当面、どんな活動をしてみたいか

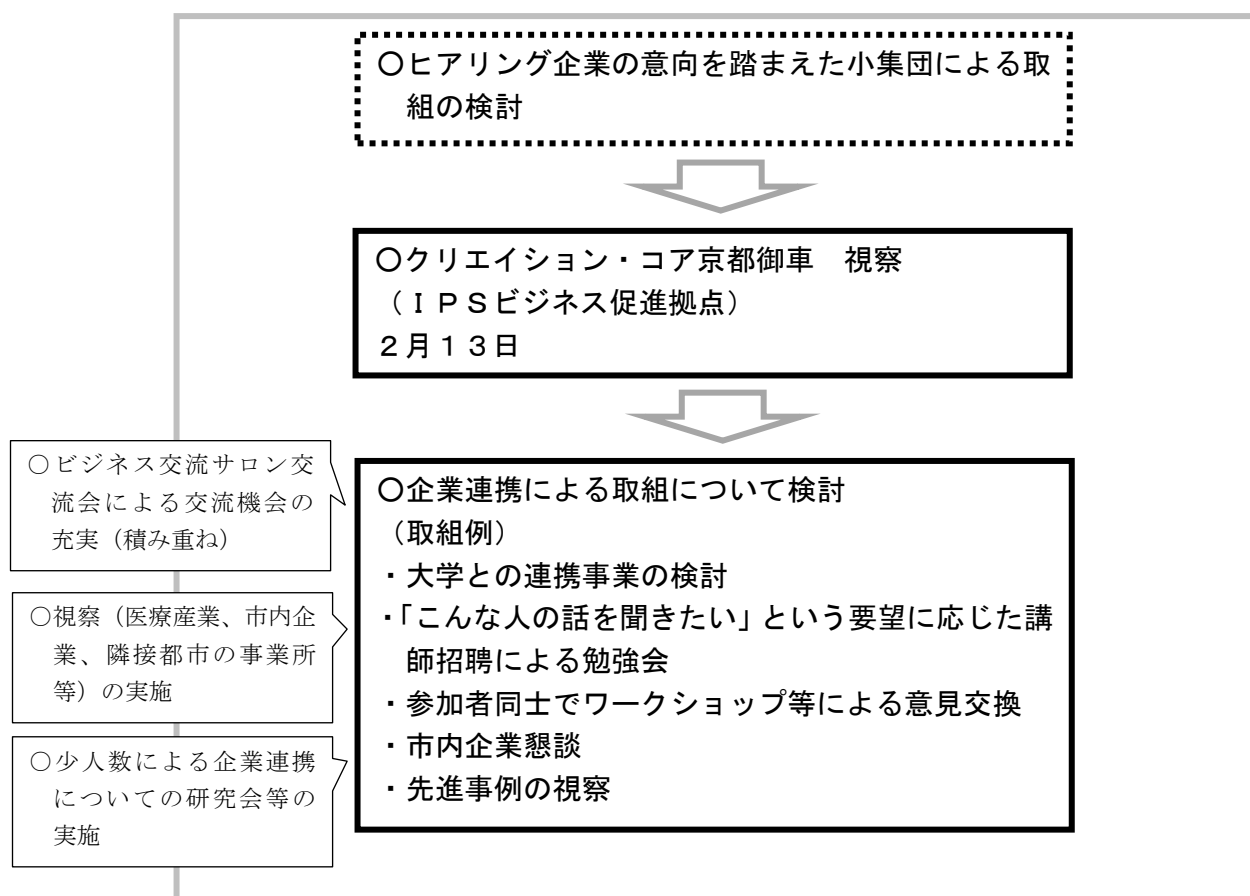
- （1）講師・専門家を呼ぶなら、どんな人の話を聞いてみたいか
- （2）先行事例として見たいところ、話を聞きたい地域や企業はあるか

3 市内企業との連携の可能性

- （1）どこまでの取組を期待するか（勉強だけであるは自社、共同で製品開発等）
- （2）取組を進めるにあたっての危惧や課題はあるか
- （3）行政や商工会議所に対して期待すること（支援ニーズ）はあるか聴取

イ) 市内企業連携の可能性検討

将来的な事業連携に向け、市内企業の信頼関係を高める交流・勉強会等について、参加者の意向を把握しつつ検討。



【ヒアリング概要】

ヒアリング対象	<ul style="list-style-type: none"> ・市内ものづくり系中小企業4事業所 ・いずれも代表者（代表取締役）
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の事業所では、互いの事業内容や工場内部の様子なども知らない、というのが現状。 ・技術力の高い事業所は多いが、企業同士のネットワークはほとんどない。 ・将来の連携に向け、当面は信頼関係の構築などから始めるべき段階にある。 ・ビジネス交流サロン等による交流機会の継続が必要。また、お互いの工場見学など、机上の話し合いよりもアクションを取り入れる方が有効。 ・事業分野では、彩都との近接もあり、医療・ライフサイエンス産業がひとつの切り口になるのではないかと。

【IPSビジネス促進拠点ショールーム 見学の様子】

